

政 策 論 文

柔軟な働き方の1つであるテレワークを組織に導入した場合の効果を述べた上で、導入に当たっての課題やその解決に効果的と考えられる方策を、次の資料を参考に論じなさい。ただし、組織については、公的機関を想定する必要はない。

(100点)

【資料1】

テレワークとは、ICT（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方です。勤務場所により、大きく、(1)在宅勤務、(2)モバイルワーク、(3)サテライトオフィス勤務に分けられます。

（総務省ホームページ

（https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/telework/index.htm））

注：モバイルワーク 施設に依存せず、いつでも、どこでも仕事が可能な状態なもの

【資料2】

企業規模別テレワーカーの割合【H29-R3】

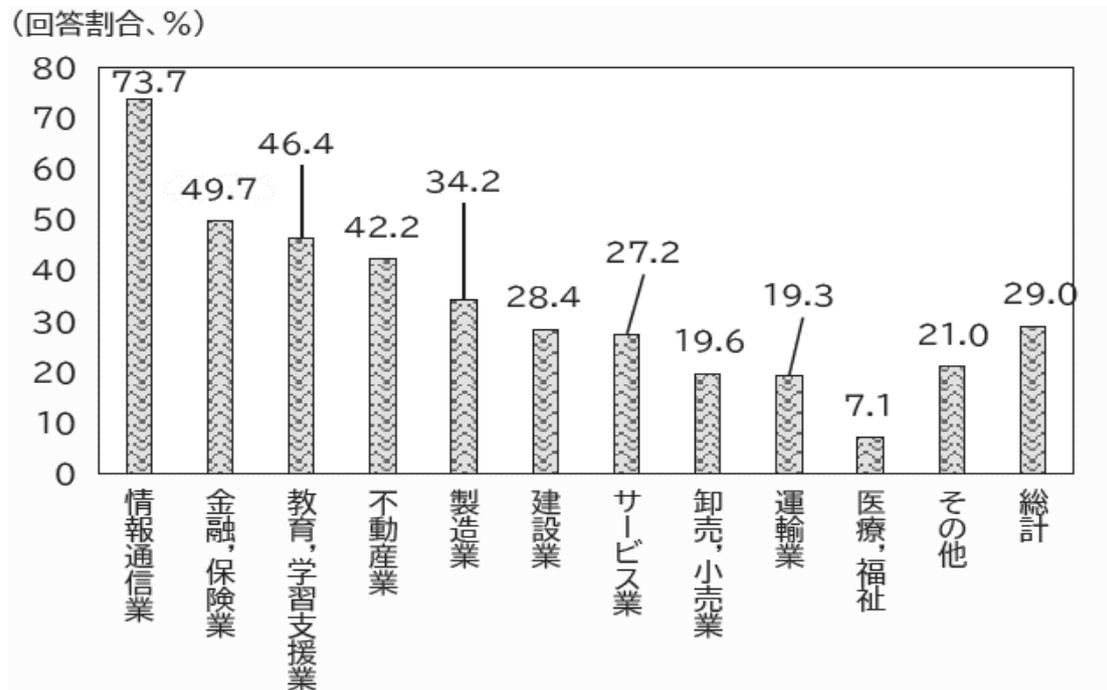
企業規模	H29	H30	R1	R2	R3
1000人以上	19.2%	22.2%	19.9%	32.3%	40.1%
300～999人	14.7%	17.5%	15.8%	25.3%	29.1%
100～299人	13.9%	15.6%	12.9%	22.0%	24.4%
20～99人	12.6%	12.5%	12.0%	15.9%	18.0%
1～19人	10.9%	12.3%	10.2%	13.9%	13.9%
雇用型就業者全体	14.8%	16.6%	14.8%	23.0%	27.0%

（「令和3年度 テレワーク人口実態調査」（国土交通省）

（https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/telework_index.htm）を加工して作成）

【資料3】

テレワークの経験がある者の割合（業種別）

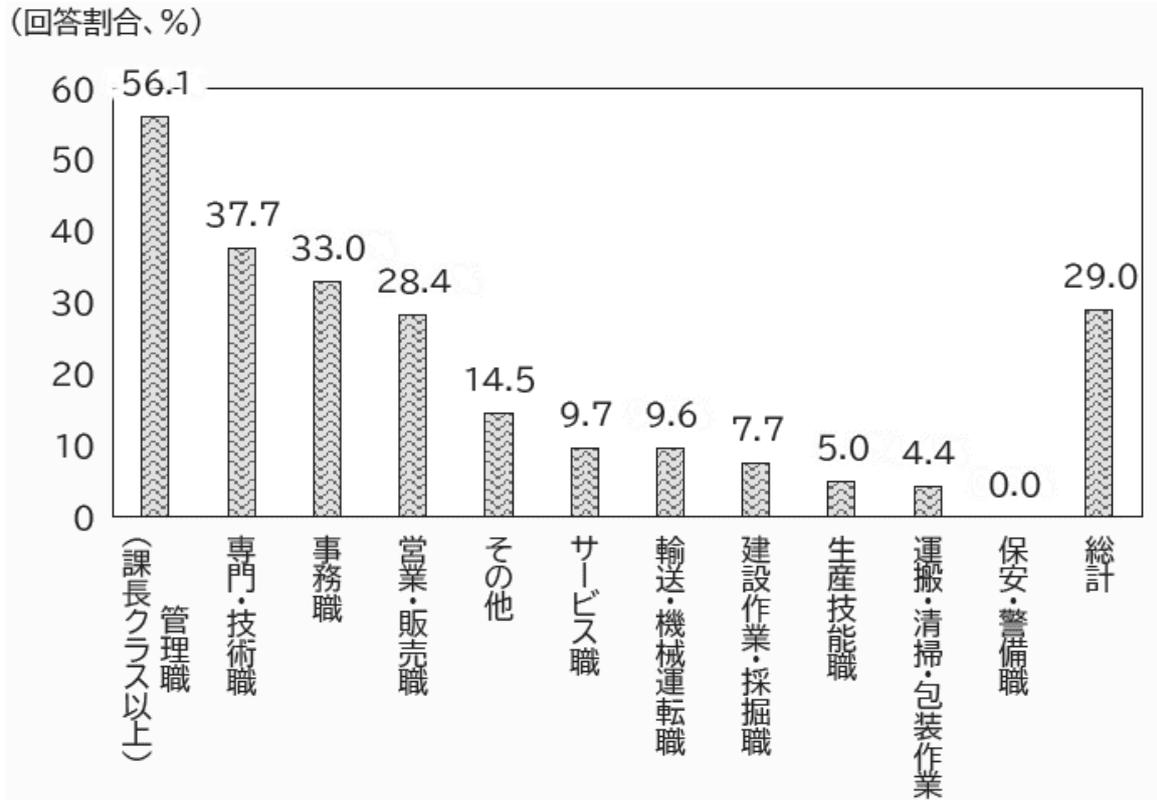


(「令和3年版 労働経済の分析」(厚生労働省))

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/roudou/20/backdata/2-2-10.html>)

【資料4】

テレワークの経験がある者の割合（職種別）

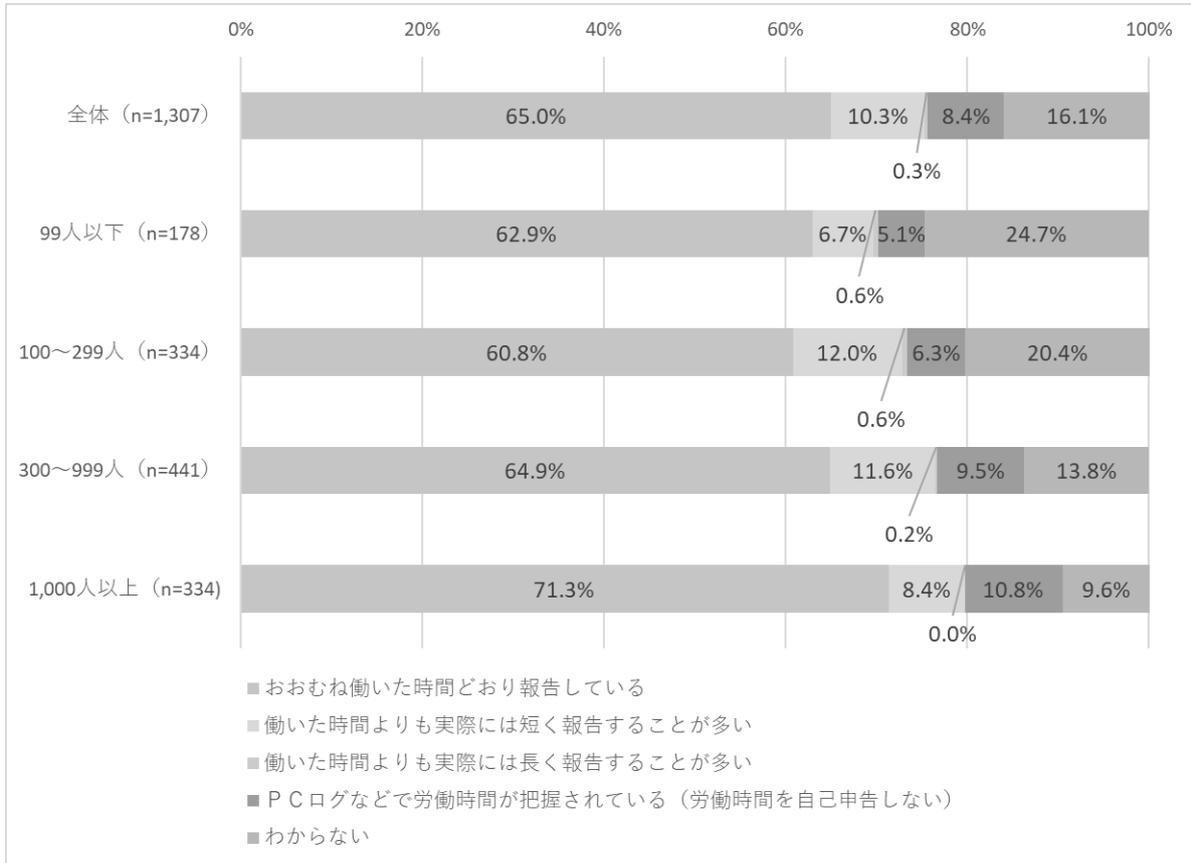


(「令和3年版 労働経済の分析」(厚生労働省))

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/roudou/20/backdata/2-2-11.html>)

【資料5】

テレワーク（在宅勤務）で所定外労働をする際の労働時間の報告：単数回答



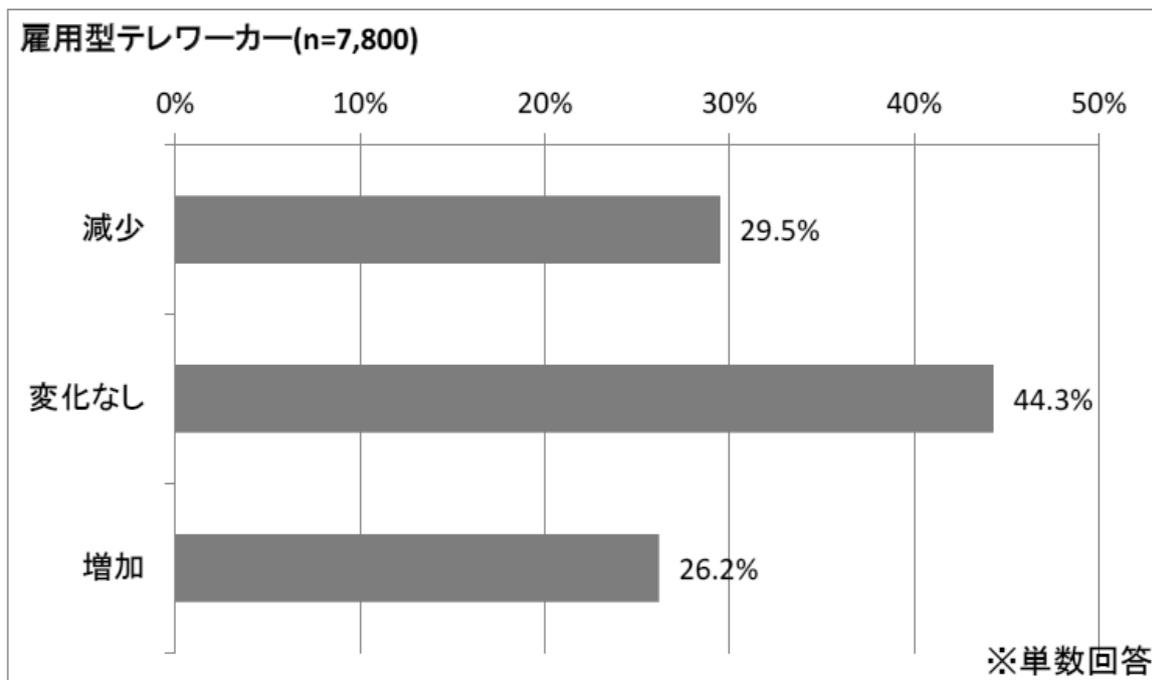
（「令和2年度テレワークの労務管理に関する総合的実態調査研究事業 報告書」（厚生労働省）
 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/shigoto/telework.html) を加工して作成)

注1： 縦軸のうち、人数は従業員が所属する企業の従業員数を表し、括弧内の「n」は従業員アンケート調査に基づくサンプル数を表している。

注2： グラフは左から「おおむね働いた時間どおり報告している」「働いた時間よりも実際には短く報告することが多い」「働いた時間よりも実際には長く報告することが多い」「PCログなどで労働時間が把握されている（労働時間を自己申告しない）」「わからない」の順に数値が表示されている。

【資料6】

テレワーク実施による労働時間の増減



（「令和3年度 テレワーク人口実態調査」（国土交通省）
（https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/telework_index.htm））

注：「n」はサンプル数を表している。

【資料7】

テレワークにおけるコミュニケーションの変化

(1) テレワークでの業務におけるコミュニケーションの変化 (方法)

(単位 回答割合、%)

	増える	やや増える	変わらない	やや減る	減る
ビデオや音声での会話	22.7	37.1	28.4	8.3	3.6
メールなどでの情報共有	22.8	42.9	30.0	3.5	0.9
チャットなどの同時性の高いテキストコミュニケーション	20.0	39.1	35.3	4.1	1.4

(2) テレワークでの業務におけるコミュニケーションの変化 (内容)

(単位 回答割合、%)

	増える	やや増える	変わらない	やや減る	減る
感謝の言葉をかけたり、かけられたりする機会	3.8	12.9	36.6	29.3	17.3
雑談や思いつきレベルのアイデアの共有	3.8	15.7	40.1	27.6	12.8
同僚と、お互いの仕事の進捗を気にかけて、助け合う機会	3.1	18.1	40.1	27.0	11.7
ちょっとした問題や困りごとの相談	5.2	20.7	39.1	26.7	8.2
上司への報告・連絡・相談の機会	6.0	22.9	43.1	21.7	6.3

(「令和3年版 労働経済の分析」(厚生労働省))

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/roudou/20/backdata/2-2-24.html>))